

明石市立大蔵中学校だより「2021年4月8日(第106号)」

書あり 師あり 友ありて

本校の教育方針について



学校長 平田 高之

本年度の本校の教育方針、重点的な取組についてお知らせいたします。特に、本年度は、中学校においても新学習指導要領の全面実施、GIGA スクール構想に基づくタブレット端末を活用したICT教育の推進等に取り組むこととしております。下線部が、昨年度から変更した点です。

2021年度 教職員一覧

本年度は本市の中学1年生35人学級の導入により6学級となったため、1学級増となり1名教員が増えました。また、週1日となりましたが、昨年度に続き市費カウンセラーが配置されていますので、スクールカウンセラーと合わせて教育相談体制を充実しています。詳しくは「カウンセラー通信」でご案内いたしますので、お気軽にご活用下さい。

明石市立大蔵中学校

チーム大蔵中学校区の目指す子ども像
学び: 自ら進んで友だちと意見交換し合い、共に高め合える子ども
育ち: 積極的に友だちとかかわり、共に伸びようとする子ども

2021年(令和3年)度 大蔵中学校教育目標

…生徒一人一人が知性・道徳心・体力を身につけ、人間性豊かな大蔵中学校の生徒として成長することを願い…
「自ら学びつづけ たくましく生き抜く 心豊かで、健やかな生徒を育てる」

めざす学校

- ・生徒にとって **来て良かった学校**
- ・保護者にとって **預けて良かった学校**
- ・教職員にとって **勤めて良かった学校**
- ・生徒、卒業生、保護者 地域が、**誇りに思う学校**
- ・いじめを絶対に許さない 誰もが過ごしやすい学校



めざす生徒像

- ・自分のよさや可能性を發揮しようとする生徒
- ・自分で考えて行動し、他者を尊重する生徒
- 「やる気・根気・元気・勇気・本気」

めざす教師像

- ・生徒にやる気を起こさせ、生徒と共に歩もうとする教師 (生徒の自尊感情を高める)
- ・教科指導に自信を持ち、明るく向上心のある元気な教師 (教科指導のプロに)
- ・実態を把握し、先を見越した教育実践のできる教師 (学び続ける教師)
- ・家庭との連携を重視し、絶えず保護者とのつながりを大切にする教師 (生徒・保護者ファーストの考えに立てる教師)

一人一人を大切に学級づくり

未来を切り拓く総合的な人間力

地域と連携し、自ら教育を担うことができる子ども

今年度の重点的な取り組み

1 基礎基本の徹底と学習意欲の向上

- ・教育研究のさらなる発展 (主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善)
- ・新学習指導要領の着実な実施
- ・ICT(タブレット・デジタル指導書)の推進
- ・「みんなの学習クラブ」の有効活用
- ・全校読書(朝の10分間読書)の徹底
- ・標準授業時数の確保
- ・ビブリオバトルの実施 等

2 社会性と豊かな心の育成

- ・「考え、議論する」授業などを通じて道徳性を育む授業力を高める研修の充実 (R3・4明石市教育委員会指定研究)
- ・人権意識の高揚を図る取組の充実
- ・総合的な学習の時間の有効活用 等

3 生徒会活動の充実

- ・生徒の自主的な活動を尊重し、やりがいと楽しさを持たせる生徒会活動の推進
- ・小学校児童会との連携の推進 等

4 特別支援教育の推進

- ・ユニバーサルデザインによる環境づくり
- ・巡回指導、外部講師による研修の実施
- ・同室複数指導、別室指導の実施
- ・交流及び共同学習の充実
- ・小中移行支援プログラムの実施
- ・個別の指導計画の作成
- ・「I'm POSSIBLE」を活用した授業 等

5 心の通い合う生徒指導、不登校指導の推進

- ・いじめの未然防止策の充実
- ・学校生活(いじめ含む)アンケートの実施
- ・面接週間の設定
- ・カウンセリングマインド研修会の実施
- ・生徒の自尊感情を高める(褒める)指導の工夫
- ・SCによる教育相談(保護者・生徒)の充実やSSWとの連携
- ・けやき教室(校内適応指導教室)の運用等
- ・不登校生徒に対する支援の充実
- ・命の大切さの教育の充実 等

6 進路指導・キャリア教育の充実

- ・「トライやる・ウィーク」の充実
- ・オープンハイスクールへの参加
- ・自己実現を目指した進路指導
- ・「キャリアノート」の活用 等

7 社会に開かれた学校づくりの推進

- ・学校運営協議会の活性化
- ・SDG'sの推進
- ・チーム大蔵中校区UNIT会議の推進
- ・ホームページの充実、各種通信の発行等による情報発信
- ・オープンスクールの実施
- ・PTA、地域等との連携 等

働き方改革で教育内容の充実を!

- ・自動採点の活用
- ・校務支援システムの試行
- ・「一部活デー」の実施
- ・「学校ルールブック」の活用
- ・「野球型」から「サッカー型」へ
- ・タイムマネジメント能力の向上
- ・生徒と向き合う時間の確保

「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」

学んだことを生徒や社会に生かそうとする人間性

気づき、考え、やりぬく大蔵中生

すべての人が大切にされる共生社会を実現するために

学校からの情報発信について

お子様の様子や学年の動き等については、各学年から「学年だより」を発行しておりますが、その他にも「ほけんしつ通信」「給食タイムズ」「生徒指導通信」「進路通信」(中学3年生)を発行し情報発信に努めています。

この「学校だより」は、保護者の皆さまに、学校全体に関すること等を、不定期にお知らせしています。題名は、校歌の一番の歌詞から取っていますが、スクールモットーにもなっています。

本年度も引き続き、ホームページも活用した情報発信に積極的に取り組んでまいりますので、閲覧して頂きますようよろしくお願いいたします。